

OUJ神奈川学習センター ふゆだより

通巻第65号

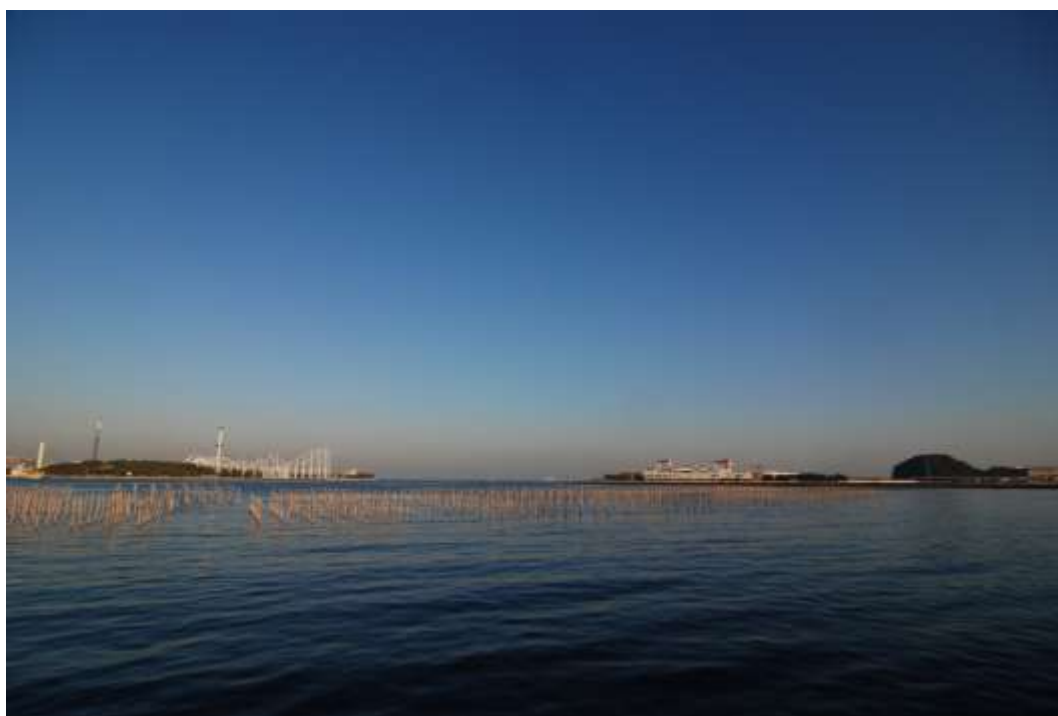
2016年1月22日発行

発行: 放送大学神奈川学習センター

〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-1

url: <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914



八景島と夏島(6ページに関連記事)

目次

新しい年になって	2
県央8市との公開学習会	3
学生生活に関するアンケート	3~ 4
ゼミ・研究会のご案内	5
Kーサポートからのお知らせ	5
神奈川学習センターウォーキング 「広重が見た金沢八景を感じて歩こう」	6~ 7
面接授業「シーカヤック概論」「記憶と日常生活」	8~ 9
サークルからのお知らせ／同窓会だより	10~11
学習センターからのお知らせ	12

神奈川「みなとあらい」



新しい年になって

神奈川学習センター所長 池田 龍彦

私が学習センターに着任した2013年度は放送大学設置30周年の年で、過去を振り返りつつ将来を展望して全国で記念行事が行われました。神奈川学習センターでは林文子横浜市長の記念講演がありました。翌2014年度は神奈川学習センター設置30周年、昨年4月は最初の学生が入学して30周年とイベントが続きました。この30年間で、延べ80,164人の学生が入学し、教養学士号が7,289、修士(学術)号が368、神奈川学習センター所属の学生に授与されています。学位取得ばかりが目標ではありません。静かで良好な学習環境の神奈川学習センターは勉強する学生のオアシスとなっています。そして今年2016年は、9月に第30回フェスタヨコハマが開催される年です。

神奈川学習センターには5千人を超える学生が所属しており、60歳以上の学生の割合が約32パーセントと全国の比率より10ポイント多くなっています。サークル活動やK-サポート活動が活発で、学習センターが比較的高齢の学生の活動で活気に満ちています。ただ、若者の存在感が薄いのではないかと常々思っていました。そこで、昨年4月から「若者集まれ」プロジェクトを立ち上げ、6月に「若者卒業生集合」、8月に「若者入学生集の集い」そして11月に「横浜港若者クルージング」を行い、30名が乗船して交流を図るとともに、山下公園・大栈橋を散策した後、中華料理で更に交流し充実した時を過ごしました。その後も、毎月第3土曜日の午後に「若者ミーティング」を開き、仲間を増やしています。

「先輩レクチャー」シリーズも始めました。5月に



は、毎日40分磯子から歩いて学習センターに通う91歳の人生の大先輩に「平常の追求—持続性と好奇心」の講演をしていただき、その後も「若い人へのメッセージ—定年までに4つの蓄えを」、「戦時中の上海租界と引き揚げ」と続き、学生が「先生」となって活動してくれています。

南関東ブロックの7つの学習センターが共同で進めるプロジェクト「第九を歌う」も始まっています。O freunde! (おお友よ!)の歌い出しで始まる「歓喜の歌」を2017年3月の演奏会で合唱するために熱心に練習しています。「第九」関連の面接授業がこの2学期間に11科目開講され、2016年度第1学期には南関東で13科目開講されます。放送大学の学生と教職員が協働するに相応しいプロジェクトで、みなさんも一緒に如何ですか。

神奈川学習センターの特徴に「学生同士のサポート体制:K-サポート」があります。学習相談、パソコンサポート、機関紙編集、バス研修旅行企画やウォーキングに多くの学生ボランティアが参加し、神奈川の「K」を冠したK-サポート活動は、神奈川同窓会・サークル協議会とともに神奈川学習センターの活動の核となっています。

これらの活動により、神奈川学習センターは学生が集い交流し、教職員とともに活発に交流する明るく楽しい学習センターになっています。これからも学生のみなさんと更に快適な学習空間を一緒に作って行きましょう。



県央8市との公開学習会

編集部

11月22日(日)あつぎ市民交流プラザにて、「異文化理解と共生」をテーマにした、放送大学神奈川学習センターと県央8市との公開学習会が、111名の市民の方々にご来場いただき開催されました。

この公開学習会は、神奈川学習センターと、発展の続く県央の厚木市・大和市・海老名市、相模原市・秦野市・伊勢原市・座間市・綾瀬市各教育委員会の共催により2008年にスタートして、今回で7回目となりました。

異文化理解と共生のテーマに合わせ、第1部の基調講演は、テレビ東京「YOUは何しに日本へ？」のプロデューサー村上徹夫氏と水野亮太氏を講師にお招きました。

実験的な番組としてはじめてのこと、取材のおもしろさと苦労話、空港でのインタビューは、4万人を超えたが、実際に番組になるのはその中のほんの一部で、取材しても放送されないものも多いということなど、会場にみなさんは、興味津々聞き入っていました。



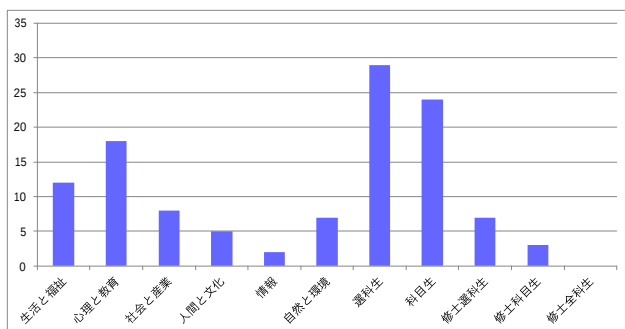
基調講演に続く、第2部事例発表では、厚木市日本語指導協力者、王家凜子氏による「日本で懸命に生きる外国籍の児童・生徒と親たち」NPO法人かながわ難民定住援助協会会長 桜井弘子氏の「インドシナ難民定住者への相談活動から」株式会社栄和産業代表取締役伊藤正貴氏の「雇用者として考える外国人が日本で暮らすためにできること」が、発表されました。

そして、第3部パネルディスカッションでは、神奈川学習センター池田龍彦所長をモデレーターを務め、基調講演の2氏と事例発表の3氏をパネラーとして会場からの意見や質問も受けながら議論を深め、異文化理解と共生を考える一助となりました。



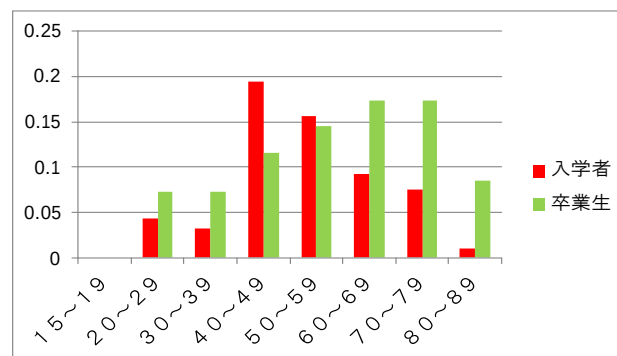
平成27年10月 学生生活に関するアンケート Kーサポート機関紙編集チーム

9月27日(日)神奈川学習センターの学位記授与式には63名の卒業生が集いました。また、10月3日(土)の入学者の集いには、入学者156名が参加。学習センターだより編集部では、前年度同様のアンケートを実施し、卒業生からは、55名の回答があり回収率87%。入学者は、114名から回答を得て回収率は、73%でした。(入学者と卒業生のアンケート、あわせて掲載しています。)



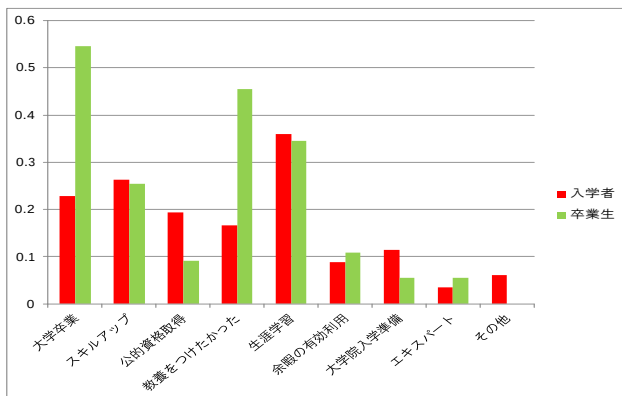
はじめに、入学生の学生種別(左図)です。全科生、選科生、科目生の割合は、49%、28%、23%で、昨年に較べて、選科生の割合が減少、全科生の割合が増加しました。コースでは、心理と教育が突出して多い傾向が緩和され、各コースに分散する傾向が見られました。

つぎに、年齢構成です。(下図)入学者では、40

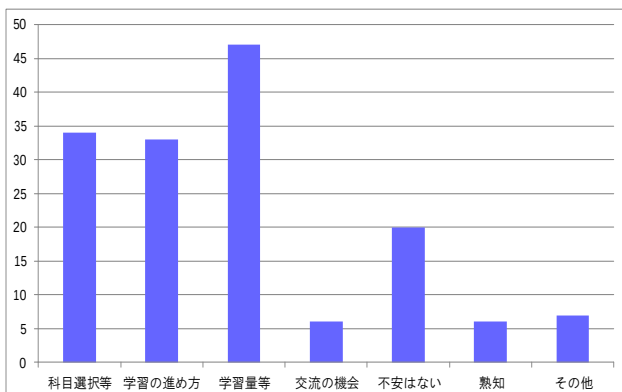


代～50代がピークとなり、卒業生では、30代以降年齢を増すに連れて卒業生が多くなり、60代がピークとなりました。

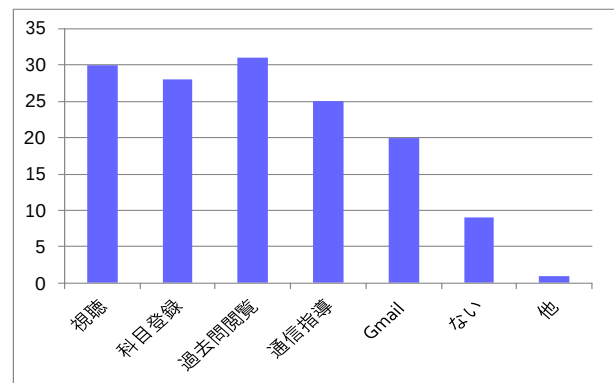
入学動機を見てみましょう。入学者では、生涯学習をあげる傾向が強いです。また、卒業生では、教養をあげた方と当然ですが卒業を目的としている方の割合が高く、卒業生と入学者の意識に乖離が見られています。とくに、卒業することと直接的な関連性のない教養の項目に差が見られるのは、特徴的です。



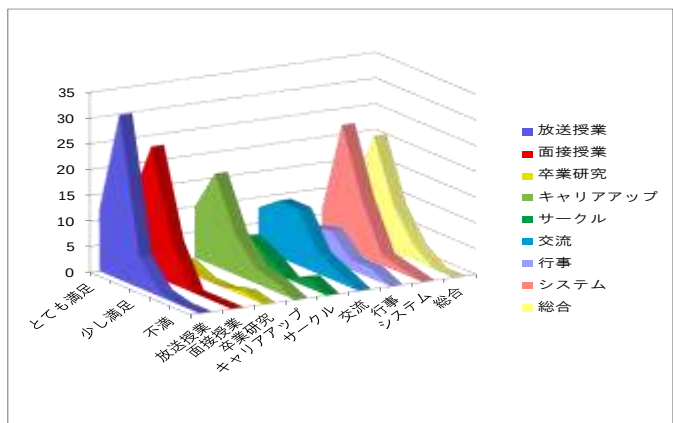
入学者が、どのようなことに不安を感じているかを聞いた質問です。単位取得への学習量が不安という、放送大学の学習に踏み出してから不安に感じる点が高い割合で、意欲の高い方が多いと想定できます。また、今回、交流に対しての不安が少ない傾向があり、交流について期待できる状況か、または、放送大学のネット環境の充実で、交流の必要性が少なくなっているなどの理由が考えられます。



パソコン利用とパソコンサポートに関する質問（右上）では、ネットを利用している方は、g-mailも含めて、放送大学が提供するネットシステムを満遍なく利用している様子がうかがえます。過去問の利用が、周知されてきた傾向も強いかも知れませんが、一方、利用しない方も、前回より増えて20%あり、全員が利用するという事は、難しいという可能性も考えられます。



最後に、卒業生の学生生活満足度です。今回の特徴的なところは、過去のアンケートでは、常に1番評価の高かった面接授業に変わり、放送授業の評価が高くなったことがあります。放送授業の質が高くなったのか、また、希望の科目が履修できないなどの可能性なども考えられます。また、交流について、ピークが分散しました。意識の違いが起こっている可能性もあります。なお、学習センターのサービスを含むシステムについては、高い評価が得られたのも、特徴となっています。



自由記入欄(卒業生)

- ・ラジオでなくテレビを増やしてほしい
- ・夕方からの面接授業を再開してほしい
- ・進路や就職の相談や人脈ができる場がほしい
- ・グランドスラム達成のため、卒業時に、各コースごとの卒業必要単位を通知してほしい

自由記入欄(入学者)

- ・厚木教室の教材を充実してほしい
- ・社会人のために、学習センター図書室を、午後9時頃まで開館してほしい。
- ・入学者の集いに参加して、教職員の方の顔が分かり安心した。

ゼミ・研究会のご案内

○平成27年度神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧

平成28年1月13日現在

①客員教授開講ゼミ				
教員	ゼミ名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
浅野幸弘	浅野ゼミ	原則第2木曜日	4/9、5/14、6/11、7/9、8/20、9/10、10/15、11/12 12/10、1/14、2/18、3/11	yasano37@ynu.ac.jp
有馬 眞	地球科学ゼミ	原則月1回	5/30(所内)、6/16(所外)9/15(所外)、10/27(所外) 12/15(所内)	m-arima@ouj.ac.jp
杉田正樹	哲学カフェ	原則第4土曜日	5/23、6/20、9/26、10/24、11/28	msugita@kanto-gakuin.ac.jp
中嶋俊夫	第九を楽しむ	原則月2回(土・日)	5/23、5/30、5/31(所外)、6/20、6/27、7/12、7/19 8/22、8/29、9/19、10/11、10/25、11/8(所外)、11/28 12/12、1/9、2/13、2/28、3/12、3/27	http://gassyo.yumesora.net
種田保穂	種田ゼミ		9/15、10/24、11/18、12/17	taneda@ynu.ac.jp
角 洋一	角ゼミ		1/9、1/19、2/3、2/16、3/2、3/16	sumi@ynu.ac.jp
遠山紘司	遠山ゼミ		9/16、10/29、11/19、12/17、2/25	kmymt@olive.ocn.ne.jp
②元客員教授開講ゼミ				
教員	ゼミ名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
藤原 一繪	植生研究会	原則第2木曜日	4/9(所外)、4/30(所外)、5/14(所外)、6/11(所外) 8/13(所外)、10/8(所外)、11/12(所外)、12/10(所内)	syokusei@yakatsu.org
影井清一郎	科学の散歩道研究会	原則第3土曜日	4/18、5/23、6/20、9/12、10/24、11/14、12/19、2/20	kagei@ynu.ac.jp
③元放送大学教員開講研究会				
教員(顧問)	研究会名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
天川 晃	放送大学ガバナンス研究会	原則第2土曜日	4/12、5/16、6/13、7/11、9/12、9/13、9/16、 10/4 11/14、12/13、2/13 3/12	jkaz5529@gmail.com
柏倉康夫	三無会	不定期開催	6/6、12/18	miyako.f71417@jcom.zaq.ne.jp

Kーサポートからのお知らせ

○学習相談チーム

Kーサポートの学習相談、2016年度第1学期は、4月16日から6月19日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階談話室の相談コーナーで行っています。予約は不要です。

放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。

OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、三国、和田
(50音順、以上、Kーサポート機関紙編集チーム)

垣谷(Kーサポート事務局)

宮崎(学習センター事務室)

○パソコンサポートチーム

・2月20日(土曜)13:00~16:30

「ホームページの利用ー科目登録の提出」
内容:初めてインターネットで科目登録する方向け講義とサポーターの操作支援
※神奈川学習センター事務室へ申込み必要です。

・2月6日(土)

「個別サポート」

今までの復習、その他。(事前申し込み不要、直接会場へお越しください。)

放送大学神奈川学習センターウォーキング「広重が見た金沢八景を感じて歩こう」

○「感じて歩こう」

地域連携チームリーダー 田代 和嘉

K-サポート地域連携チームのウォーキングは、8回目を迎えました。私、田代が今年度からリーダーを引き継ぎ、初のウォーキングでもありました。タイトルを「広重が見た金沢八景を感じて歩こう!」とし、学内外・スタッフを合わせて55名の方々に参加していただきました。2011年の称名寺・平潟湾・野島をめぐるウォーキングで、「金沢八景について詳しく知りたい」というご意見があり、今回のコースを設定しました。

江戸時代の干拓事業・軍都横須賀の拡張・戦後の埋め立てなどで、八景の眺めは大きく変わってしまいました。実物を見ながら社寺や文化財の前でガイドをするというやり方では、そのモノがそこにあることが前提ですから、八景をどのように説明しようかと考えました。広重の絵と大正時代の写真を組み合わせて、現在の八景を見てもらうこととしました。タイトルの「感じて歩こう」は、昔の面影を偲ぶことは難しくなっている現在でも、絵や写真などを頼りに「感じて」歩いてもらいたいという意図からです。参加者の方々に伝わりましたでしょうか。

放送大学では博物館に関する科目が開設されており、それらの科目を全て履修しました。ウォーキングのコースである街全体を博物館と考えて、コース上の社寺や文化財をいかにわかりやすく説明するか、資料にどの程度の分量で記述するか、いかに美しく見えるポイントはどこかなど、突き詰めていったらとてもキリがありません。ウォーキングでは参加された方々に何かのきっかけを与えることができれば、と考えています。

当日は本当に良い天気恵まれ、スケジュールにも余裕があり、無事に称名寺まで到着しました。ご協力

いただいた皆様に感謝申し上げます。

○ウォーキングに参加して

地域連携チーム 渡邊 智弘

私は、放送大学の学生です。ウォーキングには今回で5度目の参加になります。きっかけは、自分の住んでいる町をもっと知りたいと思っていたところにそれにぴったりの金沢八景を歩くという企画があったことです。今回のコースも金沢八景がテーマでしたので、ガイドをさせていただきました。

元々、歩くことが好きですが、いつも見ている景色でも少し詳しく知るだけでもっと身近なものになる。これが、私が参加する理由です。

最近では各地でウォーキングが盛んです。横浜では健康増進の観点からウォーキングポイントの制度が既に定着していますし、毎日のように各地でウォーキングが実施されています。また各観光地には、ボランティアガイドの方も沢山います。そんな中で、放送大学のウォーキングの特徴が何なのかを振り返ってみました。

第1は、放送大学の学生による手作りのコースだということです。スタッフの中心の方は、年に一度のコース設定のために、その下準備として10回は、歩かれていますのではないのでしょうか。集合や休憩、食事の場所は、トイレは、立ち入りの

制限は、安全な経路は、距離は等々、特に女性の視点からの配慮の細かさに驚かされます。

第2はテーマを持って、ストーリーのあるものにしようという心がけている点です。前回は、江ノ島から極楽寺の切り通しを経て鎌倉に入るというコースでしたが、新田義貞の鎌倉攻めが中心のテーマでした。まさに



そのコースを歩いたので、とても臨場感のあるものでした。

第3は、歴史はもちろん、地理、生物、芸術、産業等、学際的な視点があることです。参加者の皆さんから教えて頂くことも沢山ありますし、同行された放送大学の先生方と話をするチャンスもあります。何度歩いても常に新しい発見があることが楽しみです。

神奈川は本当に魅力のあるところです。まだウォーキングに参加されたことのない方は、是非一緒に。既に歩かれている方は、下見ウォークにもご参加ください。こちらの方がずっと楽しいはずですよ。



○放送大学主催の「広重が見た金沢八景を感じて歩こう！」に臨んで

山崎 猛

「金沢八景」には何回か仕事で訪れました。海と森が共生する美しい街並みを一度はゆっくり歩きたいと思っていました。そんな気持ちが「**広重が見た金沢八景を感じて歩こう！主催 放送大学神奈川学習センター ウォーキングの会**」の告知チラシと出会えさせてくれたのかも知れません。一人では勿体ないと友人に声をかけたところ「金沢文庫の住人も参加する、もう一人追加し



て」と嬉しい返事が返ってきました。皆、興味はあるのですが、動き出すきっかけが掴めないのです。折角の機会です、図書館で文献資料と古地図を探しました。ごく普通のウォーキングなら、ここまでしませんが「主催 放送大学」の文字が妙に新鮮なのです。放送大学の（若き？）メンバー「金沢八景」の歴史をどう切り取って見せてくれるのか期待です。

「八景」は洲崎の晴嵐、瀬戸の秋月、小泉の夜雨・・・を展開する世界です。晴れた日の霞や、秋の澄み渡った月、降りしきる夜雨・・・等々、住む人達の懐の広さ、自然と共生した生活を大事に守り続けてきた街並みがあります。通り一遍のウォーキングでは、絶対に味わえない深い世界を「広重と共に感じて歩ける」のです」。

参加させていただき驚きました。期待以上でした。企画立案、運営、サポート体制等々、飛びぬけていました。「放送大学」という大きな器がここまでの企画に仕上げたのでしょう。これだけのことが出来るのならば、開催回数をもっと増やしていただくとありがたいのに・・・と、つい思ってしまいます。季節ごとの開催が期待できれば、放送大学を知らしめる、いい機会になるかとも思われますが、・・・参加させていただき、お礼方々、ペンを走らせていただきました。スタッフの皆様、お疲れ様でした。ご準備等、本当にありがとうございました。



面接授業「シーカヤック概論」

受講生 金子 愛

11月7日と14日、帆船日本丸記念公園(横浜市西区みなとみらい)にて、「シーカヤック概論」の授業が開講された。講師は、池田龍彦所長とNPO法人横浜シーフレンズ理事長の畠原信行氏、また、同法人から10名を超えるインストラクターの先生が、指導にあたった。**【編集部】**

今回、科目登録申請をする時に「なにか面白そうな面接授業をとりたい。」と思い、シーカヤック概論を見つけて、神奈川学習センターに申込みました。シーカヤックに乗った事がないため、当日はかなり緊張していましたが、横浜シーフレンズの先生方のスライドでの説明が安心できる材料となり、期待に胸を膨らませ実技授業に向かいました。初めは陸の上で、パドルを動かし漕ぎ方を教えてもらいました。水上でのことを予測しながら教えて頂きましたので、水上のことが随分予測できるようになりました。その後シーカヤックに乗り込むのですが、陸上で実習するよりもかなりグラグラ揺れましたが、なんとか手伝ってもらいながら乗り込みました。初めは安定しなかったシーカヤックも、少しするとコツを掴み、前に進むようになってきました。私の場合漕ぐ力が左右でバラバラ



なようで、どちらかに曲がってしまい、真っ直ぐ進まないということが続きましたがコツを教えてもらい、徐々に真っ直ぐ進むようになってきました。また曲がる時も瞬時に判断して漕がないと曲がりきれず、相手の船や壁にぶつかってしまうということがありましたが、こちらにも慣れてくると思い通りに、曲がれるのですぐに楽しくなりました。1日目はシーカヤックパーク内で練習して終了しました。普段運動不足の私は次の日の筋肉痛が酷かったです。

14日は天候の崩れもあり一部プログラムを変更しましたが、この科目の目標である、赤レンガ倉庫までツーリングをする授業でした。1週間あいだが空いてしまったので、シーカヤックの乗り方を忘れてしまっていたのですが、復習してすぐに乗れるようになりました。出かける前に先生による、転落時のレスキューデモンストレーションがあり少し不安でしたが、先生がグループに2人ついて頂き、声をかけてもらいながら

ツーリングがはじまりました。雨が降っていてかなり寒かったので、本当にたどり着けるか不安でしたが、途中休憩を挟みながらなんとか赤レンガ倉庫まで行くことが出来ました。そして帰りは少しずつ周りの景色を楽しむことができました。昼食時には身体が冷えきってしまい、午後はシーカヤックに乗れるかどうか自分自身不安でしたが、暖かい部屋と池田先生が用意してくれた暖かい飲み物とお弁当を食べて午後のツーリングに出かけることができました。午後はコースを変えて大岡川のツーリングでし



た。横浜の町並みを楽しみながらツーリングができました、春には桜を正面から見るができるそうです。そしてシーカヤックパークに帰ってきて、転落した場合のレスキュー訓練を見学しました。かなり



苦戦していましたが、シーカヤックに無事に乗ることができていて、私も寒くなければやりたかったなあと残念な気持ちになりました。終了後は暖かいシャワーも浴びることができました。

2日間でツーリングできるようになるか不安だったのですが、先生の熱心なご指導できちんと目標達成でき、楽しみながら授業を受けることができました。安全に2日間を終えることができ本当にありがとうございました。

(足立学習センター 金子愛)



面接授業「記憶と日常生活」

編集部

11月13日と11月20日、「記憶と日常生活」が、講師：福田幸男先生(放送大学神奈川学習センター客員教授)により開講された。

授業の始まりは先生の自己紹介から、昨年度末で、横浜国立大学(教育人間科学部)で定年を迎え、現在は横浜薬科大学の教壇に立っていることをはなされた。そして、自然な形で、先生のふるさと十勝の話にすんでゆきました。



平野、山や川、十勝特有の風景のスライドが映し出され、ふるさとの景色は年を経ていいなあと思えるようになってきた。ふるさとに帰りたいと思うのは、人ばかりではない、「鮭」もふるさとの川に帰ってくる、それには、生まれて間もないときに記憶されたにおいをたよりに戻ってくるという説が有力である。人にとっても、嗅覚と言う原始的な感覚は、記憶を呼び起こす作用が大きい……と本題の記憶の話に入っていきます。

記憶は魔物のようなもので、意のままにならない「覚えてくても覚えられない」「忘れたくないのにわすれてしまう」「忘れたいのに忘れられない」という性質がある。けれど、記憶は人生そのもの、なくてはならない人生の同伴者である。そして「博士の愛した数式」などの映画などを取り上げ、その中で描かれている高次脳機能障害の話などをしました。

記憶の研究の祖といえるエビングハウスの記憶の研究、また、その例外として、忘却のない人～ハイパーサイメスティック・シンドローム(超記憶症候群)～や、東日本大震災の起こった3月11日の記憶のように、皆がそのときのことを覚えていること～フラッシュバルブ記憶。サヴァン症候群などの話を、映像等を織り交ぜながらの説明でした。

それから、記憶のプロセス、記憶、保持、想起とそれに対応した感覚記憶、短期記憶、長期記憶のメカニズムを脳についての話も交えつつ授業は進み。

その中で、受講生に数字を覚えてもらい、それが短期記憶として消失してゆく感覚を体験しました。

2日目。「忘れる」という視点からの話だった前回に対して「覚える」という視点から話になります。前回の授業内容の思い出してもらような、授業内容のふり返りの話のあと、脳のメカニズムの講義から始めました。

脳の損傷によって新しく記憶ができなくなった障害から、脳の海馬や扁桃体と言われる領域と記憶に密接な関係がわかり、現在では、動物実験などを通して、詳しく分かってきていること。

受講生はもちろんのこと、多くの人が関心を持っている認知症について、映像を交えながら、長い時間をかけた話になります。とくにアルツハイマー型認知症について、近年、理解が進んできて、今後治療の可能性も期待できる時代になってきたことや、認知症予備軍とも言えるけれど、対処によって、認知症を回避することができるMCI(軽度認知障害)のことなど、最新の話題も取り上げていた。



それから、顔や名前の記憶、目撃証言、展望的記憶、自伝的記憶、どうして、名前はなかなか覚えられないか、どうやったら覚えらるか思い出せるか、などの話に続きました。

「記憶」という難しいテーマを、たくさんの映像や、関連する話題と重ね合わせながら、理解に導いてゆく講義でした。古典的研究から、最新の話も折り込まれていましたし、映像は、ビジュアルに訴えると言うより、考えさせる、考えるきっかけになるものが多い授業でした。



学生サークルからのお知らせ

○うえるかむKanagawa

私達は英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

☆例会は毎月第2、第4水曜日(試験月等は変更有り)

＊Benny class (3クラス) 10:15～12:30

＊English songs 13:15～13:30

＊Group study(4グループ) 13:30～15:30

☆その他 うえるかむ名画座、ゲスト講演会等を開催。

問い合わせ 片野眞明 090-4714-8260

○韓国語同好会

★月例会 第2、第4土曜日

①10:00～11:30 初級クラス

②11:30～12:00 ミーティング(全員)

③12:00～13:30 中級クラス

④13:30～14:30 自主学習(「サランバンソンニムとお母さん」読書会)

★講師 横浜国大大学院生 林恵園先生

★見学会:2月6日「韓国のお正月行事」(韓国文化院主催)

★問い合わせ 神奈川サークル協議会のホームページからどうぞ。

<http://kcc-ouj.net/dantai/hangugo/>

(代表:斎藤)

○放大かながわレク・サークル

★パソコン部:個人のニーズに応じた学習。

学習日時:第2、第4木曜日 13時30分～15時30分。

場所:神奈川学習センター 実習室:申込制

★ウォーキング部:2ヶ月に1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化 施設等も対象

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

一会員募集中(随時申込・受付)一

問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○神奈川合唱団

楽しく一緒に唱いましょう。

今年度も、3月26日の学位記授与式にNHKホールにて学歌を唱います。発声法に特に力を入れた指導を受けています。「学歌」「夜のタンゴ」「ふるさと」などの歌を唱っています。気軽に見学においで下さい。

場所:大岡地区センター(神奈川学習センターの向い側) 第1、第3水曜日 午後6時～8時30分
お問い合わせ

馬場 s.andante.b3682@docomo.ne.jp

高野 seiza_olion@docomo.ne.jp

○人間学研究会

毎月の例会発表

神奈川学習センターにて 原則13:00より

2月6日(土)「車いすで巡るヨーロッパ」第7講義室

3月13日(日)総会・例会 第8講義室

※講義室は変更になる場合があります。

会員の寄稿による会誌「せせらぎ」を毎年10月発行。今年は27号を発行予定。

遠足・演劇鑑賞・美術館めぐり等の行事もあります。当面 探鳥会 北鎌倉・鎌倉の七福神を巡る遠足を予定しています。

会員随時募集中

お問い合わせ先:

小林鋭子 E-mail: t7791aaanta@ybb.ne.jp

片野賢治 E-mail: mt.dream@jcom.home.ne.jp

○資格取得研究会

看護・福祉分野を中心にキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。現在、大学卒を目指す看護師の方、看護、医療、福祉関係のキャリアアップと認定心理士を取られる方などがいます。内容は、例会(情報交換)と講演会の聴講など。

これからの例会予定

・2月7日(日)14:00～(予定、講義室未定)

・3月19日(土)(予定、懇親会のみの場合あり)

会費:¥500(1年間)

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

○ダンスサークル(社交ダンス)

場所:神奈川学習センター第7講義室

曜日:第2・第4曜日 *第1・第3火曜日自主練習

時間:午後2時～4時 講師:菊島弘明・ユリ子

会費:1か月 1500円

活動内容:社交ダンス(モダン、ラテン)の学習(ダンスパーティーで踊れるレベルに)

ダンスはスポーツです。健康増進(特に、姿勢が良くなる)、ストレス解消に、楽しく踊りませんか!! 人生がより明るくなります。不定期ですが、1泊での実習旅行も実施しています。初めての方も楽しく踊っています(初心者、歓迎!)

また、全科履修生の方は30時間のレッスンで、体育実技1単位を取得できます。

連絡先:宮川京(代表)TEL:045-933-9753

○神奈川放友会

豊かで実りある学生生活を共有することを目的に、「学び」と「触れ合い」を柱とする幅広い活動を展開し、130余名の会員から強い支持を得ているサークルです。

☆学びの場の活動

・例会 平成28年2月7日(日)

第一部:演奏会 ピアノ三重奏

第二部:講演会 『航空産業について』

講師はJAL勤務後、エア・チャーター(株)の経営にも携わった柳本信一郎氏

☆触れ合いの場の活動

・お花見と卒業・修了祝賀会

日時:平成28年3月27日(日) 場所:弘明寺公園他

☆毎月の活動:俳句の会、書に遊ぶ会、女性の会、詩游会他

詳しくはWebで、<http://kanagawa-hoyukai.jp>

入会申込・問い合わせ先:山崎正之

info@kanagawa-hoyukai.jp

○中国語学習会

継続は力なり、楽しく学べれば継続は可なり、です。会員相互の親睦を図りながら、少しずつ前進、中国語の面白さをともに味わいませんか。全くゼロからスタートの方も以前、学んだことあり、試してみたい方も歓迎歓迎です。

*学習日:第1、第3日曜日(原則)

10:00～12:00 告旭平先生 少し学んだ、から中級へ「NHKテレビで中国語」も一部教材に。

13:00～15:00 唐斌先生 発音の基礎から初級会話へ午前、午後ともに参加できます。

*お問い合わせ:和田充弘

snuf.708w@ezweb.ne.jp tel.080-3552-2497

神奈川同窓会だより

“行くところがある・会う人がいる”

そこは同窓会“弘明寺サロン”です

☆2月13日(土)弘明寺サロン映画上映会

14:00～16:30「ビルマの豎琴」

「熱い心の詩」に耳を傾けましょう。

上映終了後は「同窓会・学生団体室」にて

懇話会を行っています。多数参加ください。

神奈川同窓会は卒業祝賀会にて大活躍!

☆平成26年度学位記授与式3/26→NHK

卒業・修了祝賀パーティー→品川プリンスホテル

HP:→<http://hatoh.net/>

お問い合わせ…045-333-4426 金田 保男

サークル協議会行事のお知らせ

【春のフェスタ・ヨコハマ】

日時:2016年3月6日(日)

○映画鑑賞会:10:00～12:30 第8講義室

○講演会:13:30～15:30 第8講義室

講師:神代 和俊横浜国立大学名誉教授

(元神奈川学習センター所長)

演題:公的年金は大丈夫か?

～『世代会計論』批判～

【サークル成果発表会】

日時:2016年 3月12日(土)

場所:放送大学神奈川学習センター

1. 研究成果発表講演会(10:00～12:00)第8講義室

演題:「ウズベキスタンの仏像から見た奈良のほとけたち」～シルクロードの美術史的な役割～

講師:胡口 靖夫 ウズベキスタン・サマルカンド外国語大学名誉教授

2. 社会貢献活動講演会(13:00～14:15)第7講義室

演題:プランジャパン活動報告「女の子の元気が世界を変える力になる」

講師:佐藤 活朗 (公財)プラン・ジャパン

第3部:神奈川合唱団「第九を楽しむ」の公開練習(14:30～15:30)第8・9講義室

◆学習センターからのお知らせ

◆2016年4月入学生 ただいま第1回出願受付中！

対象学生： 教養学部（全科・選科・科目）、大学院（修士選科・修士科目）
出願期間： 平成27年12月1日（火）～平成28年2月29日（月）（必着）
願書配付： 無料で配付中！ 詳しくは下記へお問合せいただくか、
神奈川学習センターHPからご請求ください。

放送大学は、自ら道を切り拓く人を応援します！！

◆入学生の「面接授業の科目登録申請」概要

《新規4月入学生※1》

申請科目：面接授業科目（放送授業科目は出願時に登録済）

申請期間：平成28年2月13日（土）9時～2月29日（月）24時まで

申請方法：システムWAKABAへログインし科目登録申請（郵送申請不可）

※1：平成28年1月17日（日）までに出席し2月8日（月）までに学費納付者が対象
《継続4月入学生：学籍が平成27年度第2学期で終了（自主退学除く）する方。》

申請科目：放送授業科目、オンライン授業科目、面接授業科目（※2）

申請期間：平成28年2月13日（土）9時～2月29日（月）24時まで（※3）

申請方法：システムWAKABAへログインし出席後、科目登録申請（郵送申請不可）

※2：面接授業科目は、放送授業科目、オンライン授業科目登録後申請可能

※3：この期間以外の平成27年12月1日（火）～28年2月12日（金）及び

3月1日（火）～20日（日）に出席した者は学期当初から面接授業の登録不可

【重要】学生募集要項（特にP28からP29）を必ず熟読・理解すること。

◆在学生（※1）の「科目登録申請」概要

申請科目：放送授業科目、オンライン授業科目、面接授業科目

申請期間：平成28年2月13日（土）9時～2月29日（月）24時まで

申請方法：システムWAKABAへログインし科目登録申請（※2）

※1：平成28年度第1学期にも引き続き学籍のある方（入学金支払不要の方）

※2：「科目登録申請票」郵送による申請方法があり、この方法の申請期間は、
平成28年2月13日（土）～2月28日（日）大学本部必着

【重要】科目登録申請要項を必ず熟読・理解すること。

◆客員教授による公開講演会開催

3月12日（土）13時～15時 内藤晶先生『生命の担い手

タンパク質の働き（予定）』

受講方法 下記お問い合わせ先へ参加申込ください。

◆事務室からのお知らせ

①まだまだ、寒さが続きます。手洗い・うがいの励行、適度な運動、バランスの摂れた食事、十分な睡眠、規則正しい生活を心がけましょう。

②大雪等による臨時閉所があり得るので、HPやCNを日頃から見てください。

③本センターの駐車場は身体に障がい等がある等の理由で特別に許可された学生のみが利用できます。許可のない方の駐車はご遠慮ください。

お問い合わせ： 放送大学神奈川学習センター

電話045(710)1910（月曜日・祝日等を除く、9時10分～17時40分）